

令和4年度

主要な施策に関する説明書

(一 般 会 計)

(国民健康保険特別会計)

(介護保険特別会計)

(後期高齢者医療特別会計)

埼玉県南埼玉郡宮代町

地方自治法第233条第5項の規定により令和4年度に宮代町が執行した主要な施策についてご報告いたします。

令和4年度の一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の歳出決算額は、総額で約194億8,611万円、前年度に比べ約3.6%、金額にして約6億7,912万円の増となっています。

その主な要因は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した感染症対策及び物価高騰対策に係る経費のほか、保育所、学童保育所の新設に係る経費、介護、医療、福祉といったいわゆる社会保障関連経費が増加したことによるものです。

一方、少子高齢化による人口減少社会にあっても、これまでの定住人口の増加に向けた区画整理事業等の都市基盤整備の成果により、一定の水準で町税収入を確保することができ、引き続き、町の魅力を向上させ交流人口・定住人口の増加に向け都市基盤整備など将来につながる投資を進めると共に、持続可能な財政運営の実現に向け各種施策を推し進めました。

他方、国では、「新しい資本主義へ～課題解決を成長のエンジンに変え、持続可能な経済を実現～」の推進を目標に掲げる「経済財政運営と改革の基本方針2022」を定め、新しい資本主義に向けた改革として、デジタル化や脱炭素化という大きな変革の波の中、人口減少に伴う労働力不足にも対応するために、「人への投資と分配」「スタートアップ（新規創業）への投資」「デジタルトランスフォーメーション（DX）への投資」など、新たな施策を展開すると共に、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを推進するため、地方版総合戦略に基づき地方公共団体が自主的・主体的に行う先導的な取組に対し支援を行っています。

こうした状況の中、令和4年度は、「第5次宮代町総合計画前期実行計画」及び「第2期宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の2か年度目として新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した上で、事業進捗に努めました。

令和5年度も引き続き皆様の声を聴き、皆様の声を活かし、将来に渡ってこのまちに住み続けたいと思える魅力あるまちづくりを進めてまいりますので、皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

令和5年 8月31日

宮代町長 新井康之

令和4年度 宮代町一般会計決算における主要施策の成果

令和4年度は、新型コロナウイルスワクチン接種事業を始めとした新型コロナウイルス感染症対策関連事業のほか、高齢化を背景とする社会保障関連経費が引き続き増加する状況下での財政運営となりました。

歳入では、町税は、固定資産税及び都市計画税の新增築家屋の評価増、法人町民税の法人税割の増等により町税全体では前年度に比べ増額となりました。一方、各種交付金は、株式等譲渡所得割交付金など一部の交付金で交付原資（県税）が減になったものの、地方消費税交付金の交付原資（県税）の増となるなど、一般財源総額全体も前年度に比べ増額しました。

歳出では、義務的経費は、高齢化を背景とした社会保障関連経費が引き続き増額となったほか、久喜宮代衛生組合負担金が増加しました。投資的経費は、都市計画道路整備事業や東武動物公園駅東口周辺整備事業等の都市基盤整備の用地買収が一定程度進んだことにより減額となりました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルスワクチン接種の実施、子育て世帯生活支援特別給付金、住民税非課税世帯等臨時特別給付金や事業者・お店支援金の支給等の事業を実施しました。その結果、歳出総額は124億7,952万円、前年度に比べ9億1,718円の増額となりました。

このような中、令和4年度は第5次宮代町総合計画前期実行計画の2か年度目として、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した上で、事業進捗に努めました。

「構想1 宮代らしさを価値として高めていく」では、西原自然の森フェスタを夏と冬に2回開催し、西原自然の森の魅力向上を図りました。また、町に所縁のあるアーティストによる作品展などの情報発信や庁舎・遊休スペースを活用した作品展を実施したほか、「みんなが地域の特派員」制度の登録者が積極的に町の魅力を情報発信しました。

「構想2 コンパクトな町の強みを活かす」では、75歳以上の高齢者等にタクシー助成券を交付する「高齢者等タクシー助成事業」の2年目として、効果と課題の検証を行い、より使いやすく制度の見直しをしました。また、都市基盤整備として、引き続き道仏地区の周辺道路である都市計画道路 春日部久喜線整備及び東武動物公園駅東口駅前広場整備等を実施しました。

「構想3 さまざまな活動や主体を生み出す」では、引き続き、地域の高齢者サロンや子育て支援事業者と連携した子どもの居場所づくりイベントを開催しました。また、宮代町教育支援センターを開設しました。

「構想4 社会環境の変化に対応し行政運営を変化させ続ける」では、高齢者へのサービスの情報伝達の準備として、「高齢者困りごとサポート冊子」を作成し、町ホームページへの掲載とともに、各窓口でも配布を開始しました。また、日本工業大学と連携し、「日工大サイエンスプロジェクト」として、日本工業大学の大学教授の講義や実験の授業を実施しました。

令和5年度も、引き続き、「第5次宮代町総合計画前期実行計画」及び「第2期宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げられた事業を着実に進めてまいります。

令和4年度 一般会計歳入歳出決算状況

歳入の状況

款名	4年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 町 税	3,879,616	29.1	116	100,754
2 地 方 譲 与 税	91,768	0.7	3	△ 315
3 利 子 割 交 付 金	1,677	0.0	0	△ 1,034
4 配 当 割 交 付 金	24,276	0.2	1	△ 2,326
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	18,938	0.1	0	△ 12,637
6 法 人 事 業 税 交 付 金	30,896	0.2	1	7,603
7 地 方 消 費 税 交 付 金	725,563	5.4	22	36,217
8 環 境 性 能 割 交 付 金	15,510	0.1	0	3,455
9 地 方 特 例 交 付 金	44,234	0.3	1	△ 4,357
10 地 方 交 付 税	2,708,706	20.3	81	△ 850
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,770	0.0	0	△ 401
12 分 担 金 及 び 負 担 金	156,629	1.2	5	92,264
13 使 用 料 及 び 手 数 料	35,795	0.3	1	57
14 国 庫 支 出 金	2,336,395	17.5	70	△ 419,634
15 県 支 出 金	802,452	6.0	24	55,094
16 財 産 収 入	86,413	0.7	3	56,742
17 寄 附 金	22,531	0.2	1	△ 4,368
18 繰 入 金	531,725	4.0	16	232,695
19 繰 越 金	1,203,688	9.0	36	593,257
20 諸 収 入	264,994	2.0	8	31,236
21 町 債	353,161	2.7	11	△ 190,739
22 自 動 車 取 得 税 交 付 金	235	0.0	0	230
歳 入 合 計	13,338,972	100.0	400	572,943

令和5年3月31日現在人口
33,346人

(単位 千円)

3年度		2年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
3,778,862	29.6	3,860,015	固定資産税の増
92,083	0.7	90,898	交付原資（国税）の減
2,711	0.0	3,294	交付原資（県税）の減
26,602	0.2	17,410	交付原資（県税）の減
31,575	0.2	20,812	交付原資（県税）の減
23,293	0.2	9,866	交付割合の変更に伴う増
689,346	5.4	628,294	交付原資（県税）の増
12,055	0.1	12,589	交付原資（県税）の増
48,591	0.4	47,779	地方税減収補填特別交付金の減
2,709,556	21.2	2,219,159	特別交付税の減
4,171	0.0	4,631	交付原資の減
64,365	0.5	68,967	障がい福祉に係る広域事業構成市町負担金の増
35,738	0.3	32,363	都市計画手数料の増
2,756,029	21.6	5,186,163	子育て世帯等臨時特別支援事業給付金事業補助金の減
747,358	5.9	798,573	障害者自立支援給付費等負担金の増
29,671	0.2	19,572	普通財産売却収入の増
26,899	0.2	108,543	ふるさと納税（寄附金）の減
299,030	2.4	564,872	財政調整基金繰入金の増
610,431	4.8	549,577	前年度決算剰余金の増
233,758	1.8	218,362	宮代和戸横町地区における調整池施設移管協力金の増
543,900	4.3	714,857	臨時財政対策債の減
5	0.0	0	自動車取得税交付金（過年度分）の追加交付
12,766,029	100.0	15,176,596	

歳出の状況

款名	4年度			増減 A-B
	決算額 A	構成比(%)	人口1人当たり	
1 議会費	105,830	0.9	3	3,051
2 総務費	2,180,950	17.5	65	720,558
3 民生費	4,932,144	39.5	148	161,999
4 衛生費	1,464,184	11.7	44	182,168
5 労働費	52	0.0	0	△ 784
6 農林水産業費	235,921	1.9	7	25,028
7 商工費	126,342	1.0	4	5,486
8 土木費	890,378	7.2	27	△ 167,452
9 消防費	478,525	3.8	14	△ 10,410
10 教育費	1,224,677	9.8	37	1,252
11 公債費	840,440	6.7	25	△ 3,590
12 諸支出金	78	0.0	0	△ 127
13 予備費	0	0.0	0	0
歳出合計	12,479,521	100.0	374	917,179

令和5年3月31日現在人口
33,346人

(単位 千円)

3年度		2年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
102,779	0.9	101,991	議場用映像音響設備機器使用料の増
1,460,392	12.6	5,089,416	公共施設整備基金積立金の増 財政調整基金積立金の増
4,770,145	41.3	4,152,941	ふじ第二児童クラブ整備に伴う増
1,282,016	11.1	895,664	水道料金免除の実施に伴う増 医療機器リース料の増
836	0.0	961	起業創業支援ウェブサイト管理運営業務の商工費への移行
210,893	1.8	241,048	農業集落排水事業会計補助金の増
120,856	1.0	234,575	キャッシュレス決済推進事業実施による増
1,057,830	9.2	1,143,410	東武動物公園駅東口周辺整備事業の進捗に合わせた減
488,935	4.2	562,683	埼玉東部消防組合負担金の減
1,223,425	10.6	1,325,778	小、中学校非構造部材改修工事の実施に伴う増
844,030	7.3	817,656	過年度借入地方債償還の進捗による減
205	0.0	42	
0	0.0	0	
11,562,342	100.0	14,566,165	

令和4年度 一般会計歳出性質別決算状況

性 質 名	4年度（速報値※）		増減 A-B
	決算額 A	構成比（%）	
1 人 件 費	1,916,998	15.4	40,124
うち 職 員 給	1,134,579	9.1	△ 35,895
2 物 件 費	1,960,724	15.7	226,778
3 維 持 補 修 費	62,565	0.5	18,217
4 扶 助 費	2,381,313	19.2	△ 420,995
5 補 助 費 等	2,246,716	17.9	313,942
一部事務組合に対するもの	1,020,170	8.2	26,758
そ の 他	1,226,546	9.8	287,184
6 普 通 建 設 事 業 費	948,177	7.6	174,490
補 助 事 業 費	370,508	3.0	22,053
単 独 事 業 費	572,962	4.6	176,755
県 営 事 業 負 担 金	4,707	0.0	△ 24,318
同 級 他 団 体 施 行 事 業 費	0	0.0	0
受 託 事 業 費	0	0.0	0
7 公 債 費	840,440	6.7	△ 3,591
8 積 立 金	833,442	6.7	541,800
9 投 資 及 び 出 資 金	0	0.0	0
10 貸 付 金	0	0.0	△ 125
11 繰 出 金	1,289,146	10.3	26,539
合 計	12,479,521	100.0	917,179

※決算統計の県による検収後に、数値が変更となる場合があります。

(単位 千円)

3年度		2年度 決算額	主 な 増 減 理 由
決算額 B	構成比 (%)		
1,876,874	16.2	1,813,617	会計年度任用職員報酬の増
1,170,474	10.1	1,129,147	常勤職員に係る給与費の増
1,733,946	15.0	1,691,758	障がい福祉広域事業の実施に伴う増 電子カルテシステムリース開始に伴う増
44,348	0.4	63,086	公設宮代福祉医療センター施設修繕に伴う増
2,802,308	24.3	2,121,626	子育て世帯等臨時特別支援事業給付金及び 住民税非課税世帯等臨時特別給付金の給付完了に伴う減
1,932,774	16.7	5,426,421	
993,412	8.6	972,253	久喜宮代衛生組合負担金の増
939,362	8.1	4,454,168	宮代町子育て世帯応援金の給付に伴う増 水道料金免除の実施に伴う増
773,687	6.7	988,910	
348,455	3.0	199,650	宮東保育園創設に係る補助金の増 ふじ第二児童クラブ整備に伴う増
396,207	3.4	733,931	本庁舎空調機器更新に伴う増
29,025	0.3	55,329	東武動物公園駅東口周辺整備における街路事業負担金の減
0	0.0	0	
0	0.0	0	
844,031	7.3	817,656	過年度借入地方債償還の進捗による減
291,642	2.5	367,344	公共施設整備基金積立金の増 財政調整基金積立金の増
0	0.0	30,000	
125	0.0	250	勤労者住宅資金貸付制度預託金の減
1,262,607	10.9	1,245,497	介護保険特別会計繰出金の増 後期高齢者医療特別会計繰出金の増
11,562,342	100.0	14,566,165	

地 方 債 現 在

区 分	令和3年度末 現在高 A	令和4年度 発行額 B
1 普 通 債	2,686,180	206,500
(1) 総 務 債	361,140	105,000
(2) 民 生 債	626,283	
(3) 衛 生 債	344,836	
(4) 土 木 債	975,479	36,500
(5) 消 防 債	89,733	
(6) 教 育 債	288,709	65,000
2 そ の 他	5,602,924	146,661
(1) 減 税 補 て ん 債	40,910	
(2) 減 収 補 て ん 債	33,633	
(3) 臨 時 財 政 対 策 債	5,528,381	146,661
合 計	8,289,104	353,161

地 方 債 の 借 入 先 別 ・

借入先 \ 利率別	令和3年度末 現在高 A	令和4年度 発行額 B	令和4年度 元金償還額 C	令和4年度末 現在高 D(A+B-C)
1 財 務 省	3,901,634	181,061	384,529	3,698,166
2 郵便貯金・簡易生命 保険管理機構	218,315		25,954	192,361
3 地方公共団体金融機構	3,067,294	106,900	237,385	2,936,809
4 市中銀行等	846,281	65,200	133,622	777,859
5 共済組合等	20,243		5,115	15,128
6 埼 玉 県	235,337		15,330	220,007
合 計	8,289,104	353,161	801,935	7,840,330

高 の 状 況

(単位 千円)

令和4年度 元金償還額 C	令和4年度末現在高 D (A+B-C)	Dの借入先別内訳	
		政府資金	その他
270,965	2,621,715	1,150,124	1,471,591
36,880	429,260		429,260
51,749	574,534	258,222	316,312
37,657	307,179	89,846	217,333
104,308	907,671	681,566	226,105
4,913	84,820		84,820
35,458	318,251	120,490	197,761
530,970	5,218,615	2,740,402	2,478,213
14,840	26,070	26,070	
3,661	29,972	24,565	5,407
512,469	5,162,573	2,689,767	2,472,806
801,935	7,840,330	3,890,526	3,949,804

利 率 別 現 在 高 の 状 況

(単位 千円)

令和4年度末現在高 D の利率別内訳								
1.5% 以下	2.0% 以下	2.5% 以下	3.0% 以下	3.5% 以下	4.0% 以下	4.5% 以下	5.0% 以下	5.0% 超
3,541,631	10,136	139,076	3,026	2,394			1,903	
51,782		140,579						
2,487,696	442,189	3,113	2,496	1,315				
630,568	147,291							
15,128								
220,007								
6,946,812	599,616	282,768	5,522	3,709			1,903	

令和4年度 決算状況総括表

1 決算収支の状況

(単位 千円)

	4年度	3年度	2年度
歳入総額 A	13,338,972	12,766,029	15,176,596
歳出総額 B	12,479,521	11,562,342	14,566,165
歳入歳出差引額 (A - B) C	859,451	1,203,687	610,431
翌年度へ繰越すべき財源 D	100,927	183,197	124,744
実質収支 (C - D) E	758,524	1,020,490	485,687
単年度収支 F	△ 261,966	534,803	10,918
財政調整基金積立金額 G	510,747	243,952	237,643
繰上償還額 H	0	0	0
積立金取崩額 I	398,104	28,175	298,237
実質単年度収支 (F + G + H - I)	△ 149,323	750,580	△ 49,676

2 基金の現在高

(単位 千円)

	4年度	3年度	2年度
財政調整基金	1,412,678	1,300,034	1,084,257
(主な増減理由) 決算剰余金の積み立てによる増			
減債基金	3,521	3,519	3,515
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
公共施設整備基金	916,378	621,468	607,687
(主な増減理由) 小学校再整備等地域拠点施設整備の財源としての積み立てによる増			
公設宮代福祉医療センター施設整備基金	2,472	2,742	4,261
(主な増減理由) 医療機器リース料の財源としての取り崩しによる減			
宮代まちづくり基金	25,648	28,219	59,158
(主な増減理由) ふるさと納税の減額による減			
土地開発基金	329,061	328,983	328,778
(主な増減理由) 基金利子の積み立てによる増			
育英基金	15,141	16,908	18,305
(主な増減理由) 小中学校教材教具購入費の財源としての取り崩しによる減			
森林環境譲与税積立基金	12,299	8,291	4,914
(主な増減理由) 森林環境譲与税の積み立てによる増			
合 計	2,717,198	2,310,164	2,110,875

3 財政指標

	4年度	3年度	2年度
実質公債費比率		6.0%	6.3%
将来負担比率		-	6.5%
財政力指数	0.596	0.613	0.633
経常収支比率		88.0%	91.9%
実質収支比率		13.7%	7.0%
標準財政規模	7,313,403千円	7,473,220千円	6,944,050千円

※令和3年度の将来負担比率は指数なしのため「-」と表記しています。

※財政力指数、実質公債費比率の数値は、過去3カ年の平均値です。

(財政力指数の各年度数値は16ページを参照ください)

4 人口

(単位 人)

	4年度	3年度	2年度
住民基本台帳	33,346	33,656	33,792

5 国勢調査

(単位 人)

	2年国勢調査	27年国勢調査	22年国勢調査
人口	34,147	33,705	33,641
第1次就業人口	298	315	353
第2次就業人口	3,331	3,551	3,499
第3次就業人口	11,545	10,861	11,221
(分類不能)	595	854	606

6 職員数等の状況

	4年度	3年度	2年度
(一般職員) 職員数	195人	188人	186人
(一般職員) 平均年齢	43.02歳	43.09歳	44.02歳
(一般職員) 一人当たりの給料月額	310,340円	315,403円	317,492円
ラスパイレス指数	95.3	95.8	94.3

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与額を100とした場合の地方公共団体(市町村など)の給与水準を指数で示したもので、ここでは、4月1日現在の指数を記載しています。

西原自然の森活用事業（移築民家活用編）

【資料館管理運営事業】

教育推進課
文化財保護担当
TEL 34-8882

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
50,000	0	0	0	0	0	0

◎ 令和4年度の事業実績（成果）

西原自然の森の魅力を高めるため、町指定文化財である「旧加藤家」「旧齋藤家」を活用したイベントとして、他課との共催で「西原自然の森サマーフェスタ」を開催しました。

また、同じく他課との共催で「西原自然の森フェスタ2022」を開催しました。

両方のイベントを通じて、指定文化財である移築民家などの活用の際に、マニュアル作りの基となる問題点の洗い出しについて一歩進めることができました。

<実施内容>

■西原自然の森サマーフェスタ

実施日：7月30日（土）

▼スタンプラリー「ニシハラを探検せよ！」

郷土資料館を中心として、西原自然の森全体を楽しんでもらうため、小学生を対象にしたスタンプラリーを行いました。

参加者数：42人

▼昔のノートを作ってみよう！

昔の暮らしぶりを体験する講座として、「和とじノートづくり」を行いました。

参加者数：6人

▼古民家を味わう～蓄音機のしらべ in 旧加藤家～

町指定文化財「旧加藤家住宅」座敷を会場に、蓄音機でSPレコード鑑賞を行いました。

参加者数：2人

■西原自然の森フェスタ2022

実施日：12月3、4日

▼古民家音楽会 実施日：12月3日（土）

指定文化財「旧加藤家住宅」座敷を舞台に、オカリナ・ハーモニカ・軽音楽の各グループによる演奏会を行いました。来場者数：60人

▼放課後駄菓子屋 実施日：12月4日（日）

指定文化財「旧齋藤家住宅」大戸入り口付近で、昭和20～30年代をイメージした駄菓子屋を開店しました。来店者数：73人

▼西原自然の森サマーフェスタ



▼西原自然の森フェスタ2022



★前期実行計画の趣旨とその工程

福祉拠点として再整備される旧ふれ愛センターとともに西原自然の森の魅力を高めるため、「旧加藤家住宅」「旧齋藤家住宅」「旧進修館」を古い建物の特性を生かした美術作品の展示や音楽活動などの文化活動や体験講座、地域活動ができる場所とします。

[里山体験事業編、新たな福祉の拠点づくり編との連携事業]

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
モデル事業の実施	教育推進課	→				
仕組みづくりと運用準備	教育推進課		→			
活用支援	教育推進課			→		

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

新たな仕組みに基づく新規事業 年3回以上

まちなかどこでもミュージアム事業

【社会教育活動事業 決算書 P】

教育推進課

生涯学習・スポーツ振興担当

内線 433

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,021,000	150,833	0	0	0	0	150,833

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

町内には公共施設をはじめ飲食店等において、毎日のようにそこかしこで作品展や演奏会などが開催されています。それらの情報を可能な限り集約し、広く情報を届けるため町ホームページ内に「みよしアートインフォメーション」を立ち上げ、イベントの認知度向上に貢献しました。

また、公共施設等で開かれる文化芸術活動を場づくりの面からサポートするため、イスやテーブルなどの貸出実験を行ない、演奏会等でのニーズを把握し、制度構築や運用方法を検討するための確認ができました。

<実施内容>

- ・町内の公共施設や飲食店をはじめ、町外のギャラリー等で開催される町に所縁のあるアーティストによる作品展などの開催情報をSNSなどと組み合わせた積極的な情報発信を展開しました(34件)。
- ・文化芸術活動を場づくりの面からサポートするため、イスやテーブルといった集客や雰囲気演出するための物品について、スキップ広場で開催される演奏会などの場で貸出実験を行いました(4件)。

★前期実行計画の趣旨とその工程

既存施設や飲食店など、気軽に美術作品の展示や小さな演奏会ができるスペースを募集し、まちなかにおける作品展や音楽会の開催を促します。このことで地域の人材を発掘し、地域に人々の集まる新しい場所を生み出します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
飲食店などで行う作品展や演奏会の実施方法の検討	教育推進課					
アーティストと飲食店等のマッチング	教育推進課					
(仮称)アートウィークの開催	教育推進課 参加者					
(仮称)アートウィークの実施方法の検証と見直し	教育推進課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

飲食店等やアーティストが主体となった(仮称)アートウィークの開催 年1回以上

地域のみんでこどもたちの居場所づくり事業②

【教育支援センター設置事業 決算書 P】

学校教育担当
教育総務担当
内線 423

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,204,000	3,145,782	0	0	0	0	3,145,782

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

様々な事情で学校に通えていない又は通いにくい町内の児童生徒の居場所の一つとして、生活面や学習面の支援を行う「適応指導教室」、児童生徒及び保護者の教育上の悩みや進路など教育全般について、教育相談員や臨床心理士に気軽に相談できる「教育相談」の二つの機能を持った施設として、宮代町教育支援センター「みらい」を開設しました。

<実施内容>

■ 適応指導教室

- ・開室時間 9時～15時(平日のみ)
- ・令和4年度利用状況 プレ通級17名、本通級16名 ※学校復帰2名

■ 教育相談

- ・実施時間 9時～16時30分
- ・令和4年度相談件数 184件

■ その他

- ・教育相談機能の充実と適応指導教室運営体制の強化のため、次年度から新たに専門相談支援員を1名配置できるよう募集・採用の実施
- ・学校に行きにくい、学校生活になじめない等何らかの支援が必要な子供たちの支援を行う市民活動団体に対し、次年度から施設休所日に2階会議室等の貸出を行うためのルール作りと説明会の実施

★ 前期実行計画の目標とその工程

子どもが孤立しないための居場所づくりを行う人や活動を応援し、地域の人々が主体となった取り組みを広げます。また、学校に通えない児童生徒のために学外の場を整備し、心の居場所や学びの機会を提供します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
地域・学校の実態把握及び教育支援センター(適応指導教室)の在り方の検討	教育推進課	■				
子育て支援課及び福祉課との連携体制の構築(調査研究・ネットワーク構築)	子育て支援課 教育推進課 福祉課		■			
必要な施設改修・設備・備品等の整備及び人材の確保	教育推進課	■				
包括的な支援体制の構築及び拡充の検討	教育推進課		■			
教育支援センター(適応指導教室)設置条例の制定	教育推進課	■				
教育支援センター(適応指導教室)の開設及び運用	教育推進課		■			

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

常設の教育支援センター(適応指導教室)の設置

人権・平和推進事業

【人権・平和推進事業、男女共同参画社会推進事業、人権教育推進事業、教職員研修奨励事業、小学校管理運営事業】

人権推進室 内線 210
学校教育担当 内線 423
生涯学習室 内線 431

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
4,154,857	3,538,972	37,000	0	0	0	3,501,972

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

人権啓発活動の実施により差別や偏見による認識の誤りを解消するとともに、町民一人ひとりの人権意識を高めることができました。また、平和事業としてヒロシマ・ナガサキ原爆写真展を開催し平和の重要性を伝えました。

男女がお互いの人権を尊重し、個性と能力を十分発揮でき、責任を分かち合う男女共同参画を実現するため、市民参加を軸に普及・啓発活動を行い意識の高揚を図ることができました。

また、宮代町人権施策推進指針の理念に基づき、人権を当たり前の習慣・文化として町民が人権を尊重し合う社会の実現のため、宮代町パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度を開始しました。

<実施内容>

■人権啓発・教育研修会の実施

正しい人権感覚を養うために、地域住民や教職員を対象とした人権教育研修会を実施しました。また、各小中学校においても、人権教育に取り組みました。

<主な取り組み>

- ①教職員人権教育研修会 8月19日 宮代町立図書館ホール
- ②人権作文発表会と人権教育研修会 12月2日 百間小学校体育館
- ③人権問題合同研修会 2月2日 宮代町立図書館ホール
テーマ：「差別の現実から学ぶ」
講師：水島輝彦氏(埼玉人権施策推進協議会理事)

■町民相談の実施

町民の身近な相談窓口として、町民相談員による町民相談を実施しました。

実施日：毎月第2月曜日 場所：役場会議室

年間相談件数：6件

■町民法律相談の実施

町民の日常生活における様々な悩み事の法的な解釈や手続き等について、毎月第2・4火曜日に弁護士による法律相談を実施しました。

実施日：毎月第2・第4火曜日 場所：役場会議室

年間相談件数：81件

■人権推進対策事業

町民一人ひとりの人権意識を高め、あらゆる差別や偏見の解消を図るため、研修会・啓発活動を実施しました。

特に、埼玉12市町の連携・協議のもと、10月6日に久喜総合文化会館で開催した「埼玉人権を考えるつどい」では、コロナ禍ではありましたが感染予防対策を徹底しつつ、多くの方々にご参加いただきました。

■人権出前講座の実施

人権教育の普及・啓発を目的とし、差別のない明るいまちづくりについて学ぶ「みんなで語ろう身近な人権」を出前講座「まちしるベェ」のメニューとしました。

■第3次男女共同参画プランの推進

平成27年に策定した「第2次男女共同参画プラン」による取組を踏まえ、これまでの施策の成果を継承しつつ、新たな課題を解決するための施策や関連する法律、社会状況等に沿った施策を総合的かつ計画的に推進するため「第3次男女共同参画プラン」を策定しました。

このプランに基づき、男女共同参画に関する研修や啓発を順次進めて参ります。



■男女共同参画社会推進会議の運営(4回開催)

5人の市民メンバーで男女共同参画セミナーの企画・実施及び情報誌の作成を行いました。

■男女共同参画情報誌「ふらふーぷ」の発行

男女共同参画社会の実現のため、推進会議のメンバーが様々な視点からテーマを決め、編集発行しました。

また、広報みやしろ12月号の特別付録として広報紙に折り込み各世帯へ配布しました。

■男女共同参画職員研修の実施

テーマ：男女共同参画基礎講座

講師：黒須さち子氏 埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)

実施日：令和5年2月10日(金) 14時～15時30分

参加者：32人

■男女共同参画セミナーの実施

テーマ：「コミュニケーション力をUP アサーション」

講師：山崎礼子氏

(カウンセラー アサーションインストラクター)

実施日：令和5年2月12日(日)

参加者：24人



■女性相談の実施

女性が生活の中で直面している様々な悩みを打ち明けられる場として、女性相談員による相談を実施しました。

実 施 日：毎月第3月曜日、年2回休日相談
場 所：役場庁舎2階相談室
年間相談件数：31件

■男女共同参画パネル展の開催

- ・男女共同参画週間パネル展

テ ー マ：「多様な性 知っていますか？」

開催期間：令和4年6月23日（木）～29日（水）

- ・女性に対する暴力をなくす運動実施週間のパネル展

テ ー マ：「性犯罪・性暴力をなくそう」

開催期間：令和4年11月11日（金）～25日（金）

- ・「知っていますか？デートDV」「パープルリボンタペストリー」パネル展

開催期間：令和5年1月12日（木）～18日（水）

■一時保育の実施

子育て世代の方々が町審議会や催し等に参加しやすい環境整備のため、宮代町市民参加条例に基づき、一時保育を実施しました。

年間実施回数：21回

■性的少数者（LGBT等）に対する取り組み

- ①パートナーシップ・ファミリーシップの届出制度開始

一人ひとりが互いに人権を尊重し、真に豊かで安心して暮らせる社会の実現のため、性自認や性的指向に係る性的少数者の自由な意思を尊重するパートナーシップ・ファミリーシップの届出に関し、必要な事項を定めました。

- ②職員対象人権・男女共同参画研修の実施

テ ー マ：性の多様性／LGBTについて

講 師：小泉涼氏（ダイバーシティ信州会長）

実 施 日：令和5年1月13日（金）14時～16時

参 加 者：14人

■平和啓発事業の実施

平和の大切さの啓発及び平和教育の一環として行ってきた「朗読劇『私たちと原爆』」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。そのため、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆写真展」を開催しました。

開催期間：令和4年7月15日（金）～8月17日（水）

場 所：宮代町立図書館展示ホール



★ 前期実行計画の目標とその工程

互いに人権を尊重しあい、真に豊かな安心して暮らしていける社会を実現するため、人権や平和に関する啓発活動を実施します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
人権尊重意識の啓発事業	総務課 教育推進課					
学校における人権教育	総務課 教育推進課					
生涯学習における人権教育	総務課 教育推進課					
男女共同参画プランの推進	総務課					
性的少数者(LGBT)への理解促進と支援	総務課					
平和への意識を高めるための啓発活動の推進	総務課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

人権平和に関する啓発事業に参加した市民の意識・関心が向上した割合
70%

日工大サイエンスプロジェクト

【学校教育事務事業 決算書 P】

教育推進課
学校教育担当
内線 423

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
30,000	6,500	0	0	0	0	6,500

◎ 令和4年度の事業実績 (成果)

日本工業大学の先生方と検討を重ね、令和5年3月6日(月)に須賀中学校の2年生を対象に、日工大サイエンスプロジェクトを実施しました。内容は、日本工業大学において大学教授による講義及び電子顕微鏡による観察です。今回の授業についての振り返りを実施し、来年度はさらに子供たちが理科好きになるよう検討していきます。

<実施内容>

■日工大サイエンスプロジェクトの実施①

夏季休業期間中の8月24日に、小学校の先生を対象とした研修会を日本工業大学で実施しました。2学期以降の学習内容を中心とした研修を実施しました。町内の13名の先生が参加しました。

■日工大サイエンスプロジェクトの実施②

令和5年3月6日(月)に須賀中学校の2年生を対象に、日工大サイエンスプロジェクトを実施しました。

★ 前期実行計画の日程とその工程

小中学校の理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学体験を通して、子どもたちが興味をもって、自ら学ぶプロジェクトを始動します。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
日本工業大学の設備、先生に関する情報収集	教育推進課	■				
学校の教育課程の確認	教育推進課	■				
必要な支援方法の検討	教育推進課		■			
日本工業大学、学校、教育委員会との情報交換会の実施	教育推進課		■	■		
日工大サイエンスプロジェクトの実施	教育推進課			■	■	■

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

理科が好きという児童生徒 80%以上 (アンケート調査)

宮代町立小中学校適正配置事業

【小中学校適正配置事業 決算書 P】

教育推進課
教育総務担当
内線 425

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
7,480,000	7,246,674	0	0	0	0	7,246,674

◎ 令和4年度の事業実績(成果)

小中学校の再編の取組についての住民説明会を町内4ヶ所で行いました。

また、須賀小学校の整備に向けて、関係課職員や公募職員等10名で構成する「須賀小学校の再整備等地域拠点施設整備プロジェクトチーム」を立ち上げ、基本構想策定に向けて、先進地の視察や活用できる補助金等の条件整理、無作為抽出ワークショップ(10月30日)、住民意識調査(11月～12月)などを実施しました。

さらに、地域や学校関係者、有識者などで構成する須賀小学校地域拠点施設検討委員会を立ち上げ、先進事例視察や須賀小学校地域拠点施設についてのアイデア出し、意見交換等を行いました。

ワークショップや住民意識調査の結果、検討委員会の意見等をふまえて、須賀小学校地域拠点施設基本構想の案を作成しました。

<実施内容>

◇小中学校の再編の取組についての住民説明会の開催(5月24日、29日、31日、6月5日)

・小中学校の再編に関するこれまでの取組と今後20年間の取組について説明しました。

■無作為抽出ワークショップの実施(10月30日)

・「あったらいいなこんな場所～須賀小学校にみんなが集まる地域の施設～」をテーマに、再整備する須賀小学校及び併設する地域の施設について話し合うワークショップを開催しました。

・参加者：10歳から88歳までの須賀小学校区住民、検討委員、町長 計36人

■住民意識調査の実施(11月～12月)

・小学校5年生以上の須賀小学校区住民1,000人を対象に、須賀小学校地域拠点施設に関する住民意識調査を実施しました。

・回収状況 356人(回収率：35.6%)

■須賀小学校地域拠点施設検討委員会の会議開催及び先進事例視察実施(11月16日、12月22日、1月25日、3月27日)

・地域住民、学校関係者、有識者など14名からなる須賀小学校地域拠点施設検討委員会を立ち上げ、先進地の視察や意見交換、アイデア出し等を行いました。

■須賀小学校地域拠点施設基本構想案の作成

・上記の結果を踏まえ、須賀小学校地域拠点施設基本構想の案を作成しました。



★前期実行計画の趣旨とその工程

社会の変化に対応した最良な教育環境を子どもたちに提供するために、小中学校の適正な配置を進めていきます。

実施内容	実施主体	R3	R4	R5	R6	R7
計画の再検討及び見直し	教育推進課					
計画に基づく取組の実施	教育推進課					

前期実行計画の成果目標(令和7年度)

審議会の答申を踏まえた小中学校の適正配置計画の再検討及び見直し
見直し後の小中学校の適正配置計画に基づく取組の実施

教 育 推 進 課

■ 本年度の成果

本年度につきましては、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況下での学校教育活動、生涯学習活動となりました。

そのような状況下にあっても、必要な感染対策を講じ創意工夫を図ることで、次世代を担う子供たちがいきいきと学び健やかに成長するための学校教育の充実、町民の皆さんが健康で活力に満ちた生活を送るための生涯学習施策の推進を図るとともに、教育支援センターの包括的な支援体制の構築や運営、小学校のトイレの洋式化を進めるなど、教育環境の向上に努めることで心豊かでたくましい児童生徒の育成と町民の創意を生かした学びの場づくりの取組を行い、次のような成果をあげることが出来ました。

1. 教育総務・学校教育

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行いながら、例年同様の教育活動が実施できるように努めてまいりました。

町独自に非常勤講師を各学校に配置し、児童生徒一人一人を大事にするきめ細やかな学習指導を行い、児童生徒の学力向上に着実な成果をあげることができました。さらに、「心の教育」についても、郷土資料「島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山」を活用し、道徳教育の充実を図りました。

小中学校一貫教育は、19年目を迎え各中学校区で地域性や実態に応じて、小中9年間を見通した計画を作成し、指導の一貫性を持って、特色ある教育活動が展開されました。その成果として、島村盛助氏を顕彰する英語活動発表会では、オンラインによる交流会を通して、島村盛助氏の功績を改めて確認するとともに、小・中学生の英語を学ぶ意欲を育て、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の向上などを図ることができました。

環境教育においても、兄弟姉妹関係また学校内で内容が引き継がれ、家庭において省エネ活動に課題意識をもって取り組むことにより、児童生徒だけでなく家族全体の環境意識の向上を図ることができました。

特別支援教育においては、各校に特別支援学級（知的、自閉・情緒）を、また難聴・言語障害通級指導教室は2教室で、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導の充実を図ることができました。

学校運営においては、学校の自己評価、関係者評価、保護者アンケート等を公開することにより、学校課題を学校だけでなく保護者、地域とも共有し、新たな目標に地域ぐるみで取り組むという地域・家庭・学校が一体となった取り組みを進めました。また、コロナ禍の中、学校評議員会及び須賀中学校と東小学校に設置されている学校運営協議会を開催し、地域の中で特色ある学校づくりを目指すことができました。

不登校対策事業では、さわやか相談員やボランティア相談員、教育委員会事務局内に配置されている教育相談員、さらにはスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと協力して対策に取り組み、また、令和4年4月に開設した教育支援センターの支援体制の構築、安定した運営のために努めてまいりました。

安全対策では、地域の防犯ボランティアの方々との連携により、児童生徒への交通事故や不審者に対する安全確保に努めました。

小中学校施設については、老朽化の進む学校施設において、小学校のトイレの一部を大規模改修しました。さらに、児童生徒が安心・安全に学校施設を利用できる教育環境を整備するため、学校施設個別施設計画に基づき、須賀小学校及び須賀中学校の体育館について、非構造部材改修工事を実施いたしました。

学校給食では、新しい生活様式に基づく給食のルールを徹底し、新型コロナウイルスの感染防止に努めるとともに、引き続き、地産地消の推進と児童生徒の郷土理解を深めるため、地元産の食材の活用を推進し、令和4年度には米約23.8トン、野菜等約12.6トン、合わせて35品目、約36.4トンを使用しました。また、須賀中学校、百間中学校において給食配膳用エレベーターの改修を実施しました。

宮代町立小中学校適正配置事業では、小中学校の再編の取組についての住民説明会を町内4ヶ所で実施しました。また、須賀小学校地域拠点施設の再整備の取組をスタートし、職員プロジェクトチーム及び須賀小学校地域拠点施設検討委員会を立ち上げ、無作為抽出ワークショップや住民意識調査の結果をもとに、須賀小学校地域拠点施設基本構想の案を作成いたしました。

2. 生涯学習

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、町民文化祭をはじめとする不特定多数の方が参加・来場され、感染拡大防止措置が困難な事業については中止となりました。そのような中においても、成人式に代わり20歳の方をお祝いする「二十歳のつどい」を東武動物公園内の屋外施設で開催するほか、小学生の知的好奇心を刺激する「子ども大学みやしろ」については、参加人数を縮小するなど感染対策に万全を期して開催することができました。また、公民館では、利用件数及び利用者とも増加し、文化芸術から軽スポーツまでの様々な活動に利用いただきました。

3. 町立図書館

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に留意しつつ、指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用、町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供を行いました。また、日本工業大学や社会福祉協議会、健康介護課との学民官連携による取組、保健センターとの共催企画による食育展など、他分野との連携事業を積極的に展開するなど、地域力を生かした図書館の新たな魅力アップへの取組を行いました。

4. スポーツ振興

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じつつ、町民の体力向上やスポーツに親しむ機会を提供するため、施設の維持管理や各行事を行いました。本年度については町民体育祭に替わり、年齢や障がいの有無に関わらず楽しめる“ユニバーサルスポーツ”を中心に、全27種類の競技を自由に体験できるスポーツフェスティバルを開催し、多くの方々が参加されました。また、宮代町総合運動公園においては、指定管理者の持つ専門性を生かした様々な種目の教室に前年度を上回る参加がありました。

5. 文化財保護

郷土資料館では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、昨年度同様に受講人数を減じて「夏休み体験講座 郷土資料館へ行こう」や「歴史講座」などを開催しました。また、西原自然の森敷地内の活用促進を図るため、他課と共催で「西原自然の森サマーフェスタ」や「西原自然の森フェスタ2022」を開催し、多くの方にご来場いただきました。

文化財保護においては、まちづくり基金を活用して、字中にある石碑の「島村先生誨誘之碑」に対して文化財案内板を設置しました。

埋蔵文化財発掘事業では、個人住宅の建設に伴う試掘調査を実施しました。また、過去の発掘調査における成果として、平成26・29年度・令和元年度姫宮神社遺跡調査をはじめとした発掘調査報告書第25集「中寺遺跡・道仏北遺跡・地藏院遺跡・山崎遺跡・姫宮神社遺跡」を刊行するとともに、令和3年度道仏遺跡発掘調査、平成元年度地藏遺跡第2次調査及び平成29年度道仏遺跡発掘調査で出土した遺物整理を行いました。

■ 令和4年度前期実行計画

西原自然の森活用事業（移築民家活用編）	29
まちなかどこでもミュージアム事業	38
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業②	54
人権・平和推進事業	62
日工大サイエンスプロジェクト	71
宮代町立小中学校適正配置事業	72

■ 本年度の主要事業

交通安全・防犯対策事業	195
不登校対策事業	196
小中一貫教育推進事業	196
町民みんなが先生推進事業	198
英語教育推進事業	198
I C T教育推進事業	198
小学校施設管理事業	199
小学校要準特別支援教育就学援助事業	199
小学校環境教育推進事業	200
中学校施設管理事業	200
中学校要準特別支援教育就学援助事業	201
学校給食運営管理事業	201
社会教育活動事業	202
人権教育推進事業	202
青少年健全育成事業	203
公民館管理運営事業	204
図書館管理運営事業	205
総合運動公園管理事業	208
社会体育施設維持管理事業	209
生涯スポーツ振興事業	210
文化財保護事業	212
埋蔵文化財発掘調査事業	213
資料館管理運営事業	214

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
140,000	93,190	0	0	0	0	93,190

[主な実施内容]

■新入学児童全員に防犯ブザーの配布

トラック協会から寄贈された防犯ブザーを新入学児童全員に配布しました。

■通学路点検

小学校、中学校の通学路を点検し、通学路の把握とともに、危険箇所を確認し、地域、警察、関係課と連携して改善に向けて努めてきました。

■「こども110番の家」の設置

「こども110番の家」は、現在121軒あります。

児童生徒の登下校時や放課後において、不審者に出会ったり、不慮の危険に巻き込まれそうになったりしたときの駆込み拠点として、また、落雷や大雨、竜巻などの自然災害から一時的に身を守る避難所として、協力していただいております。

■学校安全体制推進「スクールガード」・「スクールガードリーダー」の設置

学校や通学路における事件・事故が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、安全で安心な学校を確立するため、児童生徒が安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関と連携しながら、各学校・地域で、安全パトロール（スクールガード）等を組織（小学校4校182人）しています。また、県からスクールガードリーダーの委嘱を受けた各小学校の代表が中心となって、学校間の連携を図りながら学校の巡回・指導、登下校時の見守り活動を行うなど実施体制の維持強化を図りました。

[成 果]

登下校指導及び通学路の点検等の活動もあり、大きな交通事故はありませんでした。また、「こども110番の家」やスクールガード等の御協力により、不審者による重大な事件も発生していません。

スクールガードリーダーを中心に安全パトロールのボランティアの方々が、登下校時において毎日子供たちを見守り、安全を確保していただいているため、下校時における不審者情報も減少しました。また、子供たちの顔を地域の方々に知っていただいたり、コミュニケーションを深めたりするなど、地域の防犯意識も高まってきています。

いじめ・不登校対策事業

[学校教育担当]

決算書 P

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,291,000	974,398	0	0	0	0	974,398

[主な実施内容]

各中学校に1人の県費助成相談員を配置したほか、町独自の体制としてボランティアの相談員を併せて1人ずつ配置し、児童生徒や保護者からの相談体制を継続して実施しました。また、教育支援センターに教育相談員を配置し、学校と委員会間の情報共有に努め、児童生徒や保護者へのフォローアップを実施しました。

令和3年度に設置された「宮代町いじめ問題調査委員会」は、令和4年度中5回開催され、令和4年12月26日に、教育長に調査報告書が提出されました。

[成 果]

令和4年度の不登校の児童生徒は44人でした。

ただし、学校に全く通えていないのではなく、相談室等へ登校しながら学校生活に徐々に慣れてきた傾向にあります。

また、学校の全教職員と中学校配置相談員(さわやか相談員)、ボランティア相談員、教育相談員が連携して児童生徒へのフォローに努め、登校ができるよう支援を行いました。さらに、県から小中学校7校に派遣されたスクールカウンセラーの協力を得ながら、専門的な見地からの保護者への支援を行いました。

宮代町の全児童生徒に対する不登校児童生徒の割合は、小学校では0.96%、中学校においては4.23%です。

小中一貫教育推進事業

[学校教育担当]

決算書 P

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
230,000	226,940	0	0	0	0	226,940

[主な実施内容]

■宮代町立小中学校一貫教育推進委員会の運営

第1回目は委員が集まり今年度の各中学校区での取組について話し合いを行いました。それぞれの中学校区での取組を参考にしながら、中学校区ごとに小中一貫の取組が進められるよう実施しました。第2回は、1年間の成果や課題を挙げ、令和5年度の教育活動につなげられるよう、まとめを行いました。

各中学校区では、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、交流等が難しいこともありましたが、工夫をしながら取組を行いました。

須賀小・中学校では、Sプランをもとに「力いっぱい!」「全力」を合言葉にして取り組みました。今年度は、「つなぐ」をキーワードに、ねらいを「指導をつなぐ、児童生徒の心をつなぐ、教職員の意識をつなぐ」として取り組みました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため人と

人との交流が難しい中でしたが、何事にも前向きに一生懸命取り組む児童生徒の育成に取り組むことができました。

東小学校・笠原小学校・百間中学校においては、ゆずり葉プランに基づいて、今年度は、「教科における緩やかな連携」「学習内容の関連の明確化」「英語科授業の連携」「挨拶運動での交流」「生活面・学びにおける共通事項の確認及び実践」を継続して行いました。それにより、中1ギャップをなくし、学習意欲を向上させながら学びを深めること、小中の交流を通して豊かな心の育成を図ることを目指し指導を進めることができました。

百間小学校・前原中学校では、Mプランに基づいて、「気持ちよく挨拶できる児童生徒」「人の話を目を見てしっかり聞ける児童生徒」「学習（家庭学習）に進んで取り組む児童生徒」「研修を通しての教職員の資質向上」を継続して行いました。学力の向上と豊かな心の育成を目指し、1年間取り組むことができました。

■小中学校一貫英語教育の推進

全小学校に専属の日本人の外国語活動補助員を週2日配置し、小学校外国語活動・英語科の一層の推進を図りました。また、小学校では、英語の専科教員が担任、外国語活動補助員や英語指導助手（ALT）と連携して指導し、外国語教育の充実に向け取り組みました。

小学校6年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として、郷土の偉人「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区で開催し、新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインや動画による交流をしました。

■道徳教育の推進

郷土道徳資料として作成した島村盛助、どんぐりピアノ、山崎山の三部作を、全小中学校で年間指導計画に位置づけ道徳の時間において活用しました。各校の取組は、学校便りやホームページ等を通して、家庭や地域に各校の道徳教育として発信しました。

[成 果]

全中学校区において、地域の特性を生かした連携を図り、小中一貫教育を推進しました。コロナ禍ではありましたが、中学校区ごとに小中9年間を見通したプランを作成し、小学生の中学校生活への不安感の解消と、中学校生活に対する期待感の向上を図り、中一ギャップの解消につなげることができました。

英語教育においては、外国語活動補助員及びALTの積極的な活用を図りました。令和2年度からは、小学校で新しい学習指導要領のもと、小学校3・4年生で週1時間の外国語活動、5・6年生で週2時間の外国語科の授業を実施しています。百間中学校区で行われていた外国語教育研究の成果を生かしながら、指導の充実を図ることができました。また、道徳教育においては、郷土資料を使っでの授業を計画的に実施し、郷土愛をはぐくみ、道徳の授業に対する児童生徒の興味・関心を高め、心の教育を推進することができました。また、研究授業を通して、道徳教育の授業力向上に結びつけることができました。

町民みんなが先生推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 **P**

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
1,027,000	782,114	0	294,000	0	0	488,114

[主な実施内容]

「町民みんなが先生」制度により、部活動等で4人の方々が小中学生の指導を行いました。

[成 果]

児童・生徒が町民の方々の優れた技術や知識に触れることにより、学習意欲や向上心が培われました。また、町民の方々と児童・生徒との触れ合いの場ともなり、地域に開かれた学校づくりが一層推進されました。

英語教育推進事業

〔学校教育担当〕

決算書 **P**

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
16,450,000	15,888,300	0	0	0	1,000,000	14,888,300

[主な実施内容]

町内中学校に英語指導助手を各校1人ずつ配置するとともに、小学校には英語指導助手を2校に1人配置しました。

[成 果]

小学校においては、外国語活動・英語科学習の中で、英語の音声にたくさんふれながら、児童が英語を身につける指導を行うことができました。また、他国の文化を知る国際理解教育が推進できました。

中学校においては、英語を使って互いの気持ちや考えを伝え合う活動や、具体的な場面や状況に合った表現を用いて、事実や思いを伝える活動を行うことができました。その結果、コミュニケーション能力を高めることができました。また、「島村盛助を顕彰する英語活動発表会」を各中学校区においてオンラインで開催し、小・中学校における英語の学習の成果等を発表することができました。

ICT教育推進事業

〔教育総務担当〕

決算書 **P**

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
42,859,000	42,832,457	0	0	0	0	42,832,457

[主な実施内容]

各小・中学校のパソコン室の管理、GIGAスクール構想の実現に向け1人1台の情報端末を活用したICT教育の推進に取り組みました。

[成 果]

1人1台情報端末の活用を通じて、子供たちの情報活用能力を高め、主体的・対話的で深い学びを実現しました。

小学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
155,158,000	154,583,178	56,707,398	0	20,800,000	292,980	76,782,800

※令和3年度からの繰越分を含みます。

[主な実施内容]

■町内各小学校の施設整備・改修・修繕（主なもの）

内 容	契約期間	金額 (円)
令和4年度小学校屋内運動場非構造部材改修工事（付帯工事含む）	R4.6.8～R5.3.31	26,094,000
令和4年度小学校トイレ改修工事（その1）	R4.6.8～R4.10.31	27,720,000
令和4年度小学校トイレ改修工事（その2）	R4.6.8～R4.10.31	20,240,000
笠原小学校校長室間仕切壁及び出入口設置工事	R5.1.16～R5.2.24	2,794,800
笠原小学校電気設備移設工事	R5.1.16～R5.2.20	3,476,000
笠原小学校ネットワーク整備工事	R5.1.19～R5.3.31	1,204,500

[成 果]

須賀小学校屋内運動場において、地震による落下物（照明やバスケットゴール等）から児童等を守るため、落下防止対策を実施しました。

また、各小学校のトイレ改修工事（一部）を実施し、教育環境の改善とトイレ洋式化率の向上を図りました。

笠原小学校の児童数増加による普通教室不足を解消するため、校長室及び職員室を移設しました。

小学校要準特別支援教育就学援助事業

[学校教育担当]

決算書 P

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
14,949,000	10,518,527	398,000	0	0	0	10,120,527

[主な実施内容]

経済的理由により就学費用の負担が困難な児童の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童又は特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

[成 果]

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。就学援助費支給者は130人（7,679,614円）となりました。また、特別支援教育就

学奨励費支給者は27人（801,553円）となりました。

加えて、翌年度新小学1年生・中学1年生となる新入学児童生徒の保護者に対して、入学準備のための学用品費の事前支給をしました。事前支給者は36人（2,037,360円）となりました。

小学校環境教育推進事業

[学校教育担当]

決算書 P-

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
6,000	0	0	0	0	0	0

[主な実施内容]

各校の代表児童生徒による宮代町子ども環境会議をオンラインで実施し、各小・中学校が、話し合った内容を踏まえた環境対策に取り組みました。

[成 果]

令和4年12月9日、進修館小ホールと各校をオンラインでつなぎ「キッズエコサミット宮代2022」を開催しました。小学校5・6年生全員と中学校の代表生徒が参加し、各校で年間をととして取り組んだ環境への取組を紹介しました。

また、自分たちで行える環境への取組について話し合う「子ども環境会議」も開催しました。電気、水道がなかった江戸時代にタイムスリップしたつもりで、節電、節水に取り組む日である「宮代江戸の日」を実施しました。町内小・中学生が取り組み、「お風呂の残り湯を花の水やりや洗濯に使った」「使わない家電のスイッチを消したり、コンセントをぬいたりした」など、子供たちが自ら考えた取組が見られ、環境への意識が高まっています。

中学校施設管理事業

[教育総務担当]

決算書 P

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
107,613,000	106,511,601	9,865,494	0	44,200,000	190,840	52,255,267

[主な実施内容]

■町内各中学校の施設整備・改修・修繕(主なもの)

内 容	契約期間	金額(円)
令和4年度中学校屋内運動場非構造部材改修工事(付帯工事含む)	R4.6.8~R5.3.31	33,614,000
給食配膳用エレベーター改修工事(須賀中、百間中)	R4.6.8~R5.3.31	24,796,200
中学校トイレ改修工事設計業務委託	R4.9.20~R5.2.28	5,192,000

[成 果]

須賀中学校屋内運動場において、地震による落下物(照明やバスケットゴール等)から生徒等を守るため、落下防止対策を実施しました。

また、教育環境の改善とトイレ洋式化率の向上を図るため、トイレ改修工事(一部)の設計業務を実施しました。

中学校要準特別支援教育就学援助事業

〔学校教育担当〕

決算書 P

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
12,425,000	6,870,576	209,000	0	0	0	6,661,576

〔主な実施内容〕

経済的理由により就学費用の負担が困難な生徒の保護者に対して、就学援助費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

また、学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒又は特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学奨励費として学校給食費・学用品費等を支給しました。

〔成 果〕

保護者の経済的負担の軽減により、教育の機会均等と格差是正の促進を図ることができました。就学援助費支給者は70人(6,505,723円)となりました。また、特別支援教育就学奨励費支給者は9人(364,853円)となりました。

学校給食運営管理事業

〔教育総務担当〕

決算書 P

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
325,713,000	325,254,294	1,207,270	0	0	114,255,795	209,791,229

〔主な実施内容〕

安全でおいしい給食を実施するために、献立等について話し合う宮代町学校給食研究委員会を6回、給食に使う物資について検討する物資検討会を11回開催しました。また、給食の計画や実施内容など、給食に関して客観的な立場から審議する宮代町学校給食運営審議会を1回開催しました。さらに、特定の食材についてアレルギーを持っている児童生徒に対し、その食材を使用しない「除去食」や「代替食」の提供によるアレルギー対策を実施しました。

新型コロナウイルス対策としては、新しい生活様式に基づく給食のルール(同一方向を向いての黙食、配膳の盛り切り等)を運用し、感染拡大防止に努めました。

■学校給食における宮代産農作物の使用状況

年 度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
品 目 数	35品目	40品目	33品目
使 用 量 (米・野菜等)	米 23.8トン 野菜等 12.6トン	米 24.4トン 野菜等 14.5トン	米 20.8トン 野菜等 11.3トン

〔成 果〕

・食育の推進

児童生徒の健康面や発育に十分配慮するとともに、世界の料理や全国の郷土料理、季節の行事食、我が家の自慢料理などのメニューの工夫により、楽しく食べながら、社会性や豊かな人間性の育成につながるよう取り組みました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,493,000	1,044,903	198,864	0	0	0	846,039

〔主な実施内容〕

■みやしろ大学

60歳以上の方を対象とした「みやしろ大学」では、受講生が運営委員となって講座の企画運営に携わり、シニア世代の生きがいづくりや健康づくりにつながる講座、ウォーキングなどを開催しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の観点からすべての講座が中止になりました。

■町民文化祭

宮代町文化協会との共催により、進修館を会場に舞台発表や作品展示を実施しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止等の観点から中止になりました。

■二十歳のつどい(令和5年1月8日(日))

605,964円

令和4年4月からの改正民法の施行による成人年齢の引き下げにより、「二十歳のつどい」として20歳の方を対象として、町の特色を活かし、レジャーランドのある「東武動物公園」を会場に開催しました。企画、運営は新20歳の対象者で構成される実行委員会により行われ、222人が参加しました。

〔成 果〕

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、会場の特性上、十分な三密対策を取ることが困難なみやしろ大学や町民文化祭は中止となりました。

一方で、二十歳のつどいについては、東武レジャー企画(株)の協力により、レジャーランドのある地域特性を活かし、東武動物公園イベントステージHOLA!(オーラ)を会場に、式典を開催することができました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
922,000	791,232	0	0	0	0	791,232

〔主な実施内容〕

■子ども人権講座の開催

40,000円

町内の小学校6年生全員を対象に子ども人権講座「視力を失って見えたもの」を開催し、259人が受講し、命の大切さについて学ぶことができました。

■人権文集(あおぞら第28集)の発行

94,861円

各小・中学校の児童生徒が書いた人権作文・標語を作品集にまとめました。また、オンライ

ンを併用して開催した作文発表会には、会場校の5、6年生131人、一般13人が参加しました。

■宮代町人権教育推進協議会への助成

472,525円

人権教育の振興と明るい地域社会づくりのため、宮代町人権教育推進協議会の啓発、研修活動に対して助成を実施しました。

[成 果]

子ども人権講座では、講師から視力を失いながらも「あきらめないこと」「挑戦する気持ちを持ち続けること」を話してもらい、子供たちにとって生きることの視座をたくさん含んだ研修となりました。人権作文や標語の作成では、子供たち一人一人が人権問題について考える機会となりました。

青少年健全育成事業

[生涯学習室]

決算書 P

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
305,000	183,316	0	0	0	11,000	172,316

[主な実施内容]

■子ども大学みやしろ

30,000円

日本工業大学と連携し、小学校4～6年生を対象に「子ども大学みやしろ」を開校しました。

講義名	期日	場所	参加者数
動物の10倍速く動く！ 植物の筋肉？	9月4日(日)	日本工業大学 E24棟	30人
お家でヒーロー！ お洗濯お手伝いセミナー	10月16日(日)	笠原小学校 家庭科室	31人
SDGsたんけんたい ～エコキャンパスツアーへしゅっぱつ！～	11月13日(日)	日本工業大学 5号館	31人
光の謎	11月27日(日)	日本工業大学 E24棟	29人

■新みやしろ郷土かるた大会・彩の国21世紀郷土かるた大会

20,085円

宮代町と埼玉県それぞれの歴史、文化、風景、自然などを題材として制作された郷土かるたの大会を開催するものです。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から新みやしろ郷土かるた大会は中止となりました。

大会名	期日	場所	対象	参加者数
彩の国21世紀郷土かるた宮代大会	1月22日(日)	百間小学校 体育館	小学校4～6年生	16人

■宮代町青少年相談員の活動

令和4年7月に予定していた、栃木県日光市湯西川「安らぎの森キャンプ場」でのサマーキャンプは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。

■放課後子供教室

5,310円

国の「新・放課後子ども総合プラン」及び町の「宮代町子ども子育て支援事業計画」に基づき、①放課後に安心して過ごせる居場所の確保、②地域住民との交流、③スポーツや文化活動等の体験機会の提供を目的に実施するものです。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からすべての事業が中止となりました。

■宮代町青少年健全育成推進員の活動

104,000円

青少年健全育成推進員による有害図書等取扱店舗の巡視活動及び年末における青少年非行防止夜間パトロール活動を実施しました。なお、青少年健全育成駅前キャンペーン等の夏期における活動については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から活動を中止としました。

期 日	内 容
11月11日	町内コンビニエンスストア4店舗を巡視
12月16日	町内公共施設などを中心に22箇所を巡視

[成 果]

新みやしろ郷土かるた大会や放課後子供教室などは、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となりました。彩の国21世紀郷土かるた大会は、一般社団法人埼玉県子ども会連合会の開催決定を受け、個人戦のみ開催しました。

子ども大学みやしろは、日本工業大学の協力のもと大教室の提供を受け、換気や手指の消毒などの感染対策をしながら実施することができました。学校では学ぶことができない特色ある授業を実施し、子供たちの知的好奇心を刺激する学びや体験、交流の機会を提供することができました。

公民館管理運営事業

[生涯学習室]

決算書 P

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
5,044,000	4,535,610	0	0	0	2,476,660	2,058,950

[主な実施内容]

■公民館の利用状況

令和4年度は、308日開館し、3館で合計42,701人が利用しました。

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
百間公民館	利用回数	1,513	107	1,406	1,032
	利用人数	14,493	2,686	11,807	8,640
川端公民館	利用回数	1,916	49	1,867	1,430
	利用人数	13,171	408	12,763	10,144
和戸公民館	利用回数	1,977	85	1,892	1,270
	利用人数	15,037	1,446	13,591	9,562
合 計	利用回数	5,406	241	5,165	3,732
	利用人数	42,701	4,540	38,161	28,346

※令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、令和2年4月1日から5月31日まで休館。

[成 果]

文化、芸術、軽スポーツ、健康づくり、自治会など、さまざまな分野のサークル、団体の活動拠点として利用され、町民の生涯学習、地域コミュニティ活動の推進に寄与しました。

図書館管理運営事業

[生涯学習室]

決算書 P

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
90,702,000	90,693,891	0	0	0	52,760	90,641,131

[主な実施内容]

指定管理者制度を活用し、図書館の管理運営を行いました。

■図書館の利用状況

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
開館日数 (日)	290	0	290	181
貸出者数 (人)	75,679	△1,333	77,012	49,361
うち広域対象	21,463	65	21,398	14,245
貸出冊数 (冊・点)	266,832	△4,709	271,541	167,657
うち広域対象	71,147	2,301	68,846	43,836

※令和2年度は、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、令和2年4月8日から5月21日まで及び令和3年1月6日から3月21日まで休館。

■図書等の所蔵数の状況

	4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
図 書 (冊)	270,222	2,424	267,798	265,203
うち一般書	205,183	1,317	203,866	202,079
うち児童書	65,039	1,107	63,932	63,124

視 聴 覚 資 料 (点)	8,121	79	8,042	8,001
合 計	278,343	2,503	275,840	273,204

■各種行事等の実施状況

童話と絵本の会や子ども映画会などボランティア団体等の協力による月例（定期）行事のほか、ナクソス・ミュージック・ライブラリーを利用したコンサートなどを開催し、延べ3,351人が参加しました。

【月例行事】

行 事 名	回数	参加者数
童話と絵本の会	全 14 回	238 人
紙芝居と折り紙	全 10 回	157 人
おはなし会	全 20 回	275 人
こども映画会	全 10 回	189 人
ライブラリーシアター	全 12 回	371 人
ナクソス音楽会	全 12 回	213 人
えほんの会（すいよう・にちよう）	全 23 回	334 人

【定例季節行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
としょかんこどもまつり	4月24日（日）	70人
朗読会	5月22日（日）	25人
夏休み親子で楽しむおはなしと映画	7月23日（土） 8月20日（土）、27日（土）	76人
夏休み子ども映画会	7月24日（日）	23人
夏休みこども平和映画会	8月7日（日）	21人
夏休み科学あそび教室	8月4日（木）	24人
夏休みおはなし工作会	8月11日（木・祝）	9人
夏休み読書感想文教室	8月21日（日）	14人
漫談を楽しむ会	9月16日（金）	41人
図書リサイクル市	10月1日（土）、2日（日）	250人
朗読会	11月27日（日）	37人
クリスマスお楽しみ会	12月25日（日）	52人
ぬいぐるみおとまり会	1月8日（日）、9日（月・祝）	25人
おとなのための昔話と音楽	2月26日（日）	67人
雑誌リサイクル市	3月4日（土）、5日（日）	160人
春のおたのしみ会	3月11日（土）	40人

【特別企画行事】

行 事 名	開催日・回数	参加者数
よみうり回想サロン in 宮代	4月10日（日）	18人

マネー講座「正しい相続制度を知る、終活のススメ」	6月12日(日)	34人
ひゃっか王	6月11日(土)、12日(日)、 18日(土)、19日(日)、 25日(土)、26日(日)	72人
調べ学習ワークショップ	7月2日(土)、3日(日) 8月6日(土)、7日(日)	46人
ゆうべのこわ〜いおはなし会	8月28日(日)	58人
持ち寄りレコード鑑賞会	9月25日(日)	30人
アルツハイマー特別映画会	10月8日(土)	70人
よみうり回想サロン in 宮代	10月9日(日)	24人
日本工業大学特別講演会 「パーソナルモビリティ自動運転」	10月23日(日)	14人
大人のための16ミリ映画会	11月6日(日)	73人
バリアフリー映画会	11月16日(水)	75人
昭和の名人芸を聴く会	1月9日(月・祝)	30人
デジタル郷土史講座	2月23日(木・祝)	55人
みやしろ子ども司書講座	3月4日(土)、11日(土)、 18日(土)、25日(土)	4人
耳で聴いてギリシア神話	3月26日(日)	37人

【成 果】

指定管理者の持つ専門性やノウハウの活用と町民ボランティア等の協力による図書館サービスの提供を行いました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの普及などが進み、多くの行事を再開することができました。とりわけ、日本工業大学や町社会福祉協議会、町健康介護課との学民官連携による取組をはじめ、保健センターとの共催企画による食育展など、他分野との連携事業を積極的に展開するなど、地域力を生かした図書館の新たな魅力アップへの取組を実施しました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
91,227,000	91,226,338	5,885,000	0	0	275,770	85,065,568

〔主な実施内容〕

指定管理者制度を活用し、総合運動公園の管理運営を行いました。

■総合運動公園の利用状況

令和4年度は317日開園し、197,873人が利用しました。

		4年度A	増減 A-B	3年度B	2年度
テニスコート	利用件数	3,362	△71	3,433	2,726
	利用人数	23,809	204	23,605	18,964
多目的広場	利用件数	119	△27	146	136
	利用人数	7,230	△956	8,186	6,656
野球場	利用件数	239	△6	245	156
	利用人数	16,599	37	16,562	10,980
ソフトボール場	利用件数	179	△18	197	169
	利用人数	4,946	△558	5,504	3,856
メインアリーナ	利用件数	1,434	△252	1,686	1,047
	利用人数	28,292	327	27,965	17,897
サブアリーナ	利用件数	1,165	588	577	856
	利用人数	14,566	△13,440	28,006	10,198
剣道場	利用件数	538	228	310	371
	利用人数	11,255	6,918	4,337	5,988
柔道場	利用件数	466	△94	560	340
	利用人数	6,254	△891	7,145	3,497
弓道場	利用件数	1,009	14	995	576
	利用人数	4,003	490	3,513	2,718
会議室	利用件数	413	△55	468	267
	利用人数	5,182	△67	5,249	3,582
研修室	利用件数	357	△10	367	195
	利用人数	5,729	△744	6,473	3,379
トレーニング室	利用件数	10,624	1,287	9,337	4,274
	利用人数	10,624	1,287	9,337	4,274
室内プール	利用件数	29,231	1,501	27,730	13,094
	利用人数	59,384	7,394	51,990	31,620
合計	利用件数	49,136	3,085	46,051	24,207
	利用人数	197,873	1	197,872	123,609

■教室等の自主事業実施状況

教室名	4年度A	増減 A-B	3年度B	2年度
水泳	30,767	6,204	24,563	19,158
テニス	4,119	385	3,734	4,009
体育	1,848	404	1,444	1,292
新体操	827	△227	1,054	720
フットサル	1,124	△451	1,575	1,219
バスケットボール	1,176	252	924	833
バドミントン	486	△19	505	326
健康教室	3,582	577	3,005	1,630
ヨガ	1,721	70	1,651	1,122
卓球	1,428	327	1,101	841
ビクトリークリニック	79	7	72	—
その他大会・教室	329	21	308	247
合計	47,486	7,550	39,936	31,397

※自主事業は、感染症対策を実施した上で段階的に実施。

■施設の主な工事等

内容	金額（円）
宮代町総合運動公園自動ドア交換工事	1,595,000
宮代町総合運動公園プール屋根改修工事	20,350,000
総合体育館シャワー室、室内プール採暖室等抗菌用タイル	5,885,000

[成 果]

指定管理者の持つ専門性やノウハウを活かした各種スポーツ教室や健康教室など幅広い世代に対する事業を展開し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも19万人以上の方に施設を利用していただきました。

社会体育施設維持管理事業

[生涯学習室]

決算書 P

4年度予算 （円）	4年度決算 （円）	4年度決算の財源内訳（円）				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
3,890,000	3,809,094	0	0	0	279,600	3,529,494

[主な実施内容]

■町内グラウンド・テニスコートの利用状況

令和4年度は359日開所し、45,933人が利用しました。

		4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
前原グラウンド	利用件数	404	28	376	309
	利用人数	9,746	2624	7,122	7,059
東 条 原 グ ラ ウ ンド	利用件数	269	△41	310	351
	利用人数	4,558	65	4,493	4,358
東グラウンド	利用件数	161	△68	229	494
	利用人数	2,163	△806	2,969	5,104
宮東グラウンド	利用件数	468	60	408	506
	利用人数	12,651	1,007	11,644	10,076
宮 東 テニスコート	利用件数	722	△1,037	1,759	1,285
	利用人数	14,720	△391	15,111	12,355
山 崎 アーチェリー場	利用件数	2,095	△496	2,591	2,521
	利用人数	2,095	△496	2,591	2,521
合 計	利用件数	4,119	△1,554	5,673	5,466
	利用人数	45,933	2,013	43,920	41,473

[成 果]

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響がありましたが、町民の身近なスポーツ・レクリエーション施設として、個人・スポーツ団体には、ソフトボールやテニスをはじめ、さまざまなスポーツの活動場所に利用され、町民の健康増進・体力向上が図られました。

生涯スポーツ振興事業

[生涯学習室]

決算書 P

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳 (円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
2,579,000	1,254,766	0	0	0	14,400	1,240,366

[主な実施内容]

■第1回町民スポーツフェスティバル

年齢や障がいの有無に関わらず楽しめる“ユニバーサルスポーツ”を中心に、全27種類9カ国のスポーツを自由に体験できるフェスティバルを開催しました。延べ4,436人の来場者が訪れ、町民の健康増進・体力向上が図られました。

■町民スポーツ大会

404,942円

宮代町体育協会へ委託し、町民の健康づくりと競技力の向上のため、各種スポーツ大会を実施しました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、5種目を実施しました。

事業名	実施時期	会場	参加チーム 参加者数
野球の部	7～8月	総合運動公園野球場	17チーム

硬式テニスの部	9月	総合運動公園テニスコート	中止
ソフトボールの部	9～10月	総合運動公園ソフトボール場他	12チーム
サッカーの部	12月	総合運動公園多目的広場	5チーム
剣道の部	6月	総合体育館メインアリーナ	68名
バレーボールの部	11月	総合体育館メインアリーナ	中止
卓球の部	11月	笠原小学校体育館	14チーム

■第39回宮代町綱引大会

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止になりました。

事業名	実施時期	会場	参加者数(チーム)
宮代町綱引大会	12月4日(日)	総合体育館メインアリーナ	中止

■少年少女スポーツ振興事業

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び雨天のため中止になりました。

事業名	実施時期	会場	参加者数
少年少女スポーツフェスティバル	6月19日(日)	総合体育館 メインアリーナほか	中止
ロードレース大会	2月11日(土)	総合運動公園	中止

■その他の事業

事業名	会場	目的・内容	参加者数
第25回ファミリーハイキング 10月～11月	秩父方面	ハイキングの楽しさや素晴らしい風景を味わい、家族のふれあいを深めます。	中止
第48回年少者スキー教室 1月7日(土)～9日(日)	日光湯元温泉 スキー場	小学校4～6年生を対象に、集団生活における協調性の養成とスキーの初歩的技術の習得を図ります。	中止
さいかつぼーる体験 9～3月	総合体育館 メインアリーナ サブアリーナ	埼玉葛地区発祥のニュースポーツ「さいかつぼーる」の体験を通して、日頃の運動不足を解消し、スポーツに親しむ機会を提供します。	87名
あそびと運動(トライ) 10月(秋季)	総合体育館 メインアリーナ	からだを動かすことの楽しさを知り、「動きのもと」を養う下地を作ることを目的に、小学校1～2年生を対象とした教室を実施します。	秋季(全3回) 延べ18名
あそびと運動(チャレンジ)	総合体育館 ほか	子どもの運動能力向上を目的に、小学校3～4年生を対象とした教室を実施します。	中止

※新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、一部事業が中止。または、規模を縮小して開催。

[成 果]

新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止のため、多くの事業が中止となりましたが、感染対策を実施した上で、あそびと運動（トライ）事業を開催し、児童へのからだを動かす楽しさを知ってもらう機会をつくることができました。

文化財保護事業

[生涯学習室]

決算書 P

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
776,000	648,058	0	0	0	300,000	348,058

[主な実施内容]

■文化財保護委員会の運営

159,300円

文化財の指定等を審議するため文化財保護委員会を開催し、町指定文化財候補の調査、審議等を実施しました。また、指定解除となった東条原獅子舞の用具について、指定候補とするための資料調査を行いました。

■調査

東部地区文化財担当者会による東部地区の古代（遺跡）及び信仰（神社）に関する調査を令和3年度に引き続いて実施しました。

■歴史講座の実施

10,000円

3月12日、さいたま民俗文化研究所主席研究員で日本民俗学会会員の板垣時夫氏を講師に、「埼玉東部の民俗行事・芸能～獅子舞・神楽等～」を開催しました。今回は民俗行事や芸能を中心に、特に獅子舞や神楽等についてわかりやすく解説していただきました。受講者15人。

■文化財案内板等の設置

297,000円

宮代まちづくり基金を活用し、字中地内にある「島村先生誨誘（かいゆう）之碑」について、その由来等を記した案内板を設置しました。

■指定文化財保存事業への補助

17,000円

指定文化財の保護、保存を目的に、埼玉県指定有形文化財五社神社本殿の管理者に防災設備保守点検費用の補助を行いました。

[成 果]

文化財案内板を設置することで合計43基となり、これまで設置したものと合わせて多くの方に地域の歴史、由来を周知できるようになりました。講座の実施にあたっては、感染症対策を行いながら、受講人数を減らしての開催となりました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
14,473,000	13,574,294	1,368,000	684,000	0	0	11,522,294

[主な実施内容]

■開発行為等に係る埋蔵文化財の照会

開発行為に係る事前の埋蔵文化財所在有無の確認として合計327件の照会がありました。

■文化財保護法の規定による発掘届の提出

文化財保護法第93条・94条の規定に係る発掘届が9件提出され、届出に対する指示を行いました。発掘届の内容及び指示事項については、以下のとおりです。

(1) 発掘届の原因

項目	件数
個人住宅	7
個人農地改良	1
工事	1

(2) 指示事項

項目	件数
工事立会	5
慎重工事	4
本調査	0

■埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査

639,864円

土地6件(合計約49㎡)の試掘調査を実施しました。

調査の原因

項目	件数
個人住宅	6

■埋蔵文化財の遺物整理

これまでの発掘調査で出土した遺物の整理作業として、令和3年度道仏遺跡発掘調査、平成元年度地蔵院遺跡第2次調査、平成29年度道仏遺跡発掘調査の遺物整理を行いました。

また、平成26年度地蔵院遺跡、平成26・29年度・令和元年度姫宮神社遺跡等の整理作業、原稿執筆、トレース作業、仮図版作成、出土遺物の復元作業、図面作成作業を行い、発掘報告書第25集「中寺遺跡・道仏北遺跡・地蔵院遺跡・山崎遺跡・姫宮神社遺跡」を刊行しました。

[成 果]

これまでに実施した発掘調査における発掘調査報告書第25集を刊行することができました。また、令和3年度に行った道仏遺跡発掘調査の出土遺物の整理作業にも着手できました。

4年度予算 (円)	4年度決算 (円)	4年度決算の財源内訳(円)				
		国庫支出金	県支出金	町債	その他	一般財源
11,079,000	10,291,827	0	0	0	15,800	10,276,027

[主な実施内容]

■郷土資料館の利用状況

令和4年度は、278日開館しました。

4年度 A	増減 A-B	3年度 B	2年度
8,503人	△151	8,654人	4,806人

■資料寄贈等

町民をはじめとした方々から、民具や古文書等16件の寄贈等がありました。

文化財、市町村史等の図書について、新規に約270冊が市町村等からの交換文献として寄贈されました。

■展示 町の歴史、文化の紹介

177,272円

区分	内容	期間	入館者数
特別展	真藏院の版木	令和4年10月 ～12月	1,580人
企画展	古文書に見る人々の暮らし4 古典に親しむ	令和4年3月 ～7月	2,064人 (4～7月分)
	身のまわりの生活史12 お皿いろいろ	令和4年7月～10月	3,053人
	おひなさま	令和5年1月～3月	1,353人
	宮代と用悪水～引く、溜める、流す～	令和5年3月～	453人 (3月分)

■各種講座・体験学習教室

51,254円

事業名	内容	参加者数
夏休みとっておき体験 「郷土資料館へ行こう」	7月27日～8月10日(計8回) 対象：小中学生 内容：縄文ペンダントづくり、まが玉づくり、組みひもブレスレットづくり、和とじノートづくり	延べ 76人
西原自然の森 サマーフェスタ	7月30日(土) 他課との共催で行った「西原自然の森サマーフェスタ」において、下記の事業を行った。 ■スタンプラリー「ニシハラを探検せよ！」 ■昔のノートを作ってみよう「和とじノートづくり」	50人

	■古民家を味わう～蓄音機の調べ in 旧加藤家	
かやぶき民家で 聞く昔話	8月6日(土) 内容：旧加藤家住宅座敷において、宮代おはなしの会スウスのみなさんの協力により、昔話や島村蓼三(盛助)の作品「村の寶(たから)」を聞く会を開催した。	25人
移築民家と「アタラシイ」ゲキ17	8月7日(日) 内容：平成16年度を初回に、これまで計16回行ってきたもので、町指定文化財・旧加藤家住宅を舞台として、宮代町に伝わる昔話や伝説、あるいは周辺地域の歴史などを題材にした演劇を上演するものである。本年は、田宮虎彦/作「足摺岬」をテーマに開催。	15人
西原自然の森 フェスタ2022	12月3日(土) ■古民家音楽会 内容：旧加藤家住宅を舞台に、オカリナ・ハーモニカ・軽音楽のそれぞれのグループによる演奏会を開催した。 12月4日(日) ■放課後駄菓子屋 内容：旧齋藤家住宅の土間を会場に、駄菓子屋を臨時開店した。	60人 73人

■資料整理

79,065円

1. 町内から寄贈された古文書、民俗資料や歴史資料等の整理を実施しました。
2. 図書、古文書目録のデータ化、民具資料の整理、新聞資料の整理及び目録化等を実施しました。

■普及、啓発

学校教育との連携により、受け入れを実施しました。

1. 総合的な学習について、町内外の小中学校5校の受け入れをしました。
2. 博物館学芸員実習生3人を受け入れました。
3. 団体利用が11件ありました。
4. 職員派遣申請が4件あり、職員の派遣を実施しました。
5. 資料の館内利用が3件ありました。

[成 果]

本年度の特別展は「真藏院の版木」と題して、須賀にある真藏院で発見された江戸時代から大正時代の版木を紹介しました。御札や薬師如来などの絵像、寺の縁起に関するもの、薬に関する

ものなど、特徴的な内容のものが多く、全部で48点について紹介することができました。

企画展は、3月から7月にかけて「古文書に見る人々の暮らし4 古典に親しむ」と題し、収蔵資料の中から、「古今和歌集」や「落窪物語」「徒然草」「源氏物語」「南総里見八犬伝」などといった、今なお「古典文学」として読み継がれているものを紹介しました。また、7月から10月にかけては、「身のまわりの生活史12 お皿いろいろ」と題し、身近な「お皿」をテーマに収蔵品を紹介しました。特別展を挟み、1月から3月にかけては例年同様「おひなさま」の展示を行いました。さらに、3月からは「宮代と用悪水～引く、溜める、流す～」と題し、町域の河川をテーマに、町域に伝来した古文書類の中から用悪水について紹介しました。

西原自然の森活用事業としては、他課との共催事業として7月に「西原自然の森サマーフェスタ」を行い、スタンプラリーや体験講座などを実施しました。また12月には「西原自然の森フェスタ2022」を行い、町指定文化財の旧加藤家住宅を舞台に「古民家音楽会」を、旧齋藤家住宅土間入り口で「放課後駄菓子屋」を開催し、古民家の雰囲気味わいながら多くの方にご来場いただきました。